

新しい評価を創り、実践するパイオニアを募集します！ 『伴走評価エキスパート』育成プログラムのご案内



社会的インパクト評価や休眠預金活用の流れから、評価ができる人材の確保が急務となっており、その中でも『伴走型評価』は現場で役に立つと言われていています。本プログラムでは、社会的課題の解決に取り組む事業や組織の成長促進を支援できるような事業評価の専門家『伴走評価エキスパート』を養成します。米国から専門家を招き、事業のイノベーションを促進させる『発展型評価 (Developmental Evaluation)』という先駆的な手法を組み上げた実践的な研修を行います。我が国のこれからの評価のあり方を共に考え、社会的価値を最大化する基盤づくりを進め、各地域・業界に展開するリーダーシップを発揮できる人材を募集します。

■ カリキュラムの概要



最先端の理論と現場で使える事例の
インプット



現場での実践とフィードバックによる
経験学習の促進



現場でのさらなる実践のための基盤
づくり (教材開発、事例蓄積)

具体例から学ぶケーススタディ、支援先組織の伴走評価の計画・実践など、米国専門家も交えてヒューリスティックな手法で専門的学習をおこないます。

■ 『発展型評価 (Developmental Evaluation)』とは

社会的イノベーションなど、目的が固定されているというよりも目的自体が変化し、時間軸も予め設定されているというよりも流動的で前進的な対象を評価するための方法です。

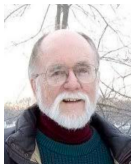
発展型評価	形成評価	総括評価
事業が発展中、生成中の場合に適用	まだ改善の余地あり、基準づくりの過程に適用	すでに確立している、結果もある程度予測可能な場合に適用

■ プログラムスケジュール (研修)

プログラム	日程	内容 (予定)
第1回定期研修会	2017年8月24日 (木)、25日 (金)	評価全般、発展型評価。ケーススタディや現場の現状分析等
第2回定期研修会	2017年10月19日 (木)、20日 (金)	取り組み内容の報告、現場の共有等
集中研修会	2017年12月10日 (日)～14日 (木)	米国専門家による講義、評価者に求められる資質・能力開発、発表内容へのフィードバック等
第3回定期研修会	2018年2月14日 (水)～16日 (金)	取り組み内容のまとめ、今後の展望等

○ 統括アドバイザー：

本プログラムの統括アドバイザーとして、実用重視評価、発展型評価の提唱者かつ第一人者であるマイケル・クイン・パットンが研修の監修をします。他にも第一線で活躍する海外の事業評価専門家を数名予定しています。



パットン氏

○ その他の指南役：

- ・源 由理子 (明治大学 公共政策大学院 ガバナンス研究科 教授/明治大学プログラム評価研究所・代表)
- ・今田 克司 (一般財団法人CSOネットワーク代表理事、日本NPOセンター常務理事)

■ 募集要項

○ 求める人材像

- (1) 「評価」について一定以上の知識・経験を持っていること
- (2) 実際の国内の支援先団体を持っていること (事業者の場合は自団体でも可)
- (3) 原則プログラムの全日程に終日参加可能で、月10～15時間程度のコミットができること

○ 募集定員：12名 (書類および面接による選考を実施します)

○ 募集期間：5月8日 (月)～6月9日 (金)

○ 参加費：98,000円 (税込。交通費補助あり。通常200,000円以上の研修ですが、助成により特別価格となっています)

○ 詳細：<http://www.csonj.org/activity2/human-resource/expert-participants>

○ お問い合わせ：一般財団法人CSOネットワーク (担当：千葉) eval@csnj.org

■ 主催：一般財団法人CSOネットワーク

■ 助成：日本財団

■ 協力：NPO法人日本ファンドレイジング協会

Supported by 日本 THE NIPPON
財団 FOUNDATION

NPO法人日本NPOセンター

事業年度：2017年度

事業成果物名：社会的インパクト評価普及のための評価支援人材の育成

http://nippon.zaidan.info/jigyo/2017/0000092007/jigyo_info.html